

2005年度 第3四半期及び9ヶ月累計 連結決算概要

目次

	頁
平成18年3月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）	1
1．概況	2
2．第3四半期の経営成績及び財政状態、財務諸表等	3
(1) 連結損益計算書	8
(2) セグメント情報	9
(3) 連結貸借対照表	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
3．9ヶ月累計の経営成績、財務諸表等	13
(1) 連結損益計算書	14
(2) セグメント情報	15
(3) 連結キャッシュ・フロー計算書	17
4．通期の業績見通し	18
5．補足資料	19



平成 18 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 18 年 1 月 31 日

上場会社名 富士通株式会社

（コード番号：6702 東京、大阪、名古屋 各第 1 部）

（URL <http://www.fujitsu.com>）

代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 黒川 博昭

問合せ先責任者 役職名 広報 I R 室長 氏名 八木 隆

TEL：（03）6252 - 2175

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

・最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無：有

2. 平成 18 年 3 月期第 3 四半期財務・業績の概況（平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 12 月 31 日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

	売上高		営業利益		経常利益		当期（四半期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18 年 3 月期第 3 四半期	3,313,774	1.5	60,166	57.9	19,296	-	11,033	-
17 年 3 月期第 3 四半期	3,263,707	1.7	38,112	-	10,235	-	17,731	-
(参考)17 年 3 月期	4,762,759		160,191		89,052		31,907	

	1 株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
18 年 3 月期第 3 四半期	5.34	4.75
17 年 3 月期第 3 四半期	8.77	-
(参考)17 年 3 月期	15.42	13.86

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示す。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1 株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18 年 3 月期第 3 四半期	3,631,995	845,982	23.3	409.13
17 年 3 月期第 3 四半期	3,574,686	853,041	23.9	412.50
(参考)17 年 3 月期	3,640,198	856,990	23.5	414.18

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18 年 3 月期第 3 四半期	149,628	142,863	88,154	375,493
17 年 3 月期第 3 四半期	83,307	97,805	172,336	215,327
(参考)17 年 3 月期	277,232	15,129	212,034	454,516

3. 平成 18 年 3 月期の連結業績予想（平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 3 月 31 日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
通 期	4,800,000	110,000	50,000	24.18

* 上記業績予想の利用時における注意事項等については、本資料の「4. 通期の業績見通し」（18 ページ）を参照して下さい。

1. 概況

【事業環境】

当第3四半期における当社グループを取巻く事業環境は、全体としては安定的に推移しました。世界経済は国際的な原油価格高騰の影響はありましたが、米国及び中国の力強い景気拡大に牽引され、安定的に成長を続けました。また、国内経済も企業の収益力向上、個人消費の回復により、力強さには欠けるものの緩やかに成長をしております。

IT投資については、海外ではグローバル企業を中心に積極的な投資姿勢が継続しております。国内でも勢いは弱いものの、将来の企業競争力確保に向けた投資の動きが活発になりつつあります。特に、ITが基幹業務を担っている通信や金融などの分野では投資意欲は確実に高まっております。システムについては、安定性や信頼性に加え、拡張性に対して要求水準が更に高まっており、これに関連してセキュリティに対するニーズも急速に拡大しています。その一方では、IT市場におけるグローバルな競争環境は激しさを増しており、当社グループを取巻く事業環境は引き続き厳しく推移しております。

今日においてITは社会や企業のライフラインとして役割を増しており、システムの安定運用への関心はかつてなく高まっております。当社は、お客様の重要なインフラを担う企業として、大変重い責任を改めて認識するとともに、システムの安定運用に一層注力し、お客様の信頼を更に高めるよう、社員一同強い自覚を持って行動してまいります。そして、お客様にとっての経営や事業の真のパートナーとして信頼されるように、優れたテクノロジーと高度なサービスに基づく先進的かつ最も効率的なソリューションの提供に向けて弛まぬ努力をしております。

【第3四半期の概況】

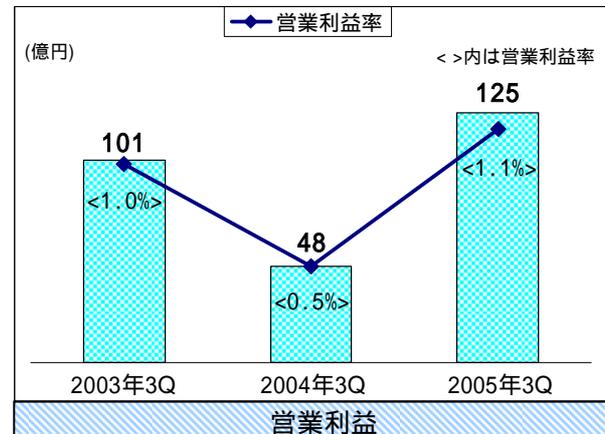
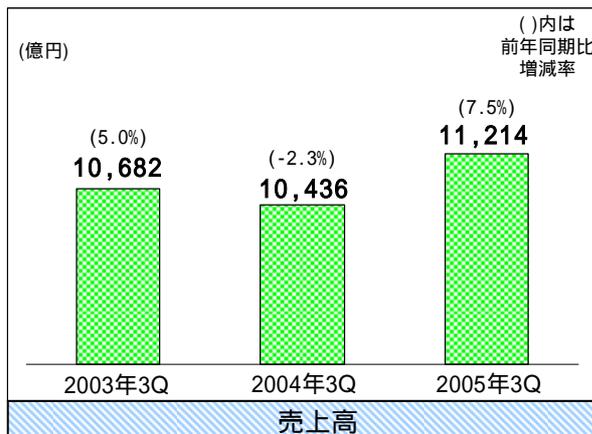
	2005年度 第3四半期 〔2005年10月1日～ 2005年12月31日〕	2004年度 第3四半期 〔2004年10月1日～ 2004年12月31日〕	前年同期比	会計方針の変更及び 事業再編による 影響を除く増減率
売上高 (前年同期比増減率)	億円 11,214 (7.5%)	億円 10,436 (▲2.3%)	億円 777	(7.0%)
営業利益 (営業利益率)	125 (1.1%)	48 (0.5%)	77 (0.6%)	
経常利益	34	▲142	176	
当期純利益	33	▲95	129	

【9ヶ月累計の概況】

	2005年度 9ヶ月累計 〔2005年4月1日～ 2005年12月31日〕	2004年度 9ヶ月累計 〔2004年4月1日～ 2004年12月31日〕	前年同期比	会計方針の変更及び 事業再編による 影響を除く増減率
売上高 (前年同期比増減率)	億円 33,137 (1.5%)	億円 32,637 (1.7%)	億円 500	(2.2%)
営業利益 (営業利益率)	601 (1.8%)	381 (1.2%)	220 (0.6%)	
経常利益	192	▲102	295	
当期純利益	110	▲177	287	

2. 第3四半期の経営成績及び財政状態、財務諸表等

【損益の状況】



当第3四半期の売上高は1兆1,214億円で、前年同期比7.5%の増収となりました。今年度の会計方針の変更及び前年度のフラットパネルディスプレイ事業の譲渡による影響を除いたベースでは7.0%の増収でした。国内では、ソリューション/ＳＩは会計基準の変更影響を除いたベースでほぼ前年並みとなりました。好調な所要の続くネットワークプロダクトは増収でしたが、サーバなどのシステムプロダクトは減収となりました。一方、海外では英国のアウトソーシングサービスが引き続き好調で、UNIXサーバ、パソコン、HDDやLSIも大きく伸びました。

営業利益は125億円で、前年同期比で77億円の増益となりました。営業利益率は1.1%と前年同期比で0.6ポイント改善しました。会計方針変更の影響を除くと、ほぼ前年同期並みです。デバイスソリューションはLSIの所要増や電子部品が引き続き好調なほか、フラットパネルディスプレイ事業の再編などにより増益となりました。ユビキタスプロダクトやサービスはほぼ前年同期並みを維持しましたが、システムプラットフォームはサーバ・ストレージなどを中心に減益となりました。

経常利益は34億円で、前年同期比で176億円の改善となりました。営業利益の増益に加え、退職給付積立不足償却額が年金制度改訂により45億円減少し、為替差損益が50億円好転しました。

12月に米国AMD社(Advanced Micro Devices, Inc.)とのフラッシュメモリ事業の合併会社(当社の持分は40.0%)であるスパンション社が上場に伴い新株発行を実施したことにより、持分変動損失84億円を特別損失に計上しました。なお、上場後の持株比率は当社25.2%、AMD社37.9%、その他36.9%です。

当期純利益は33億円で、前年同期比で129億円の改善となりました。

<会計方針変更による影響>

(単位: 億円)

	第3四半期	9ヶ月累計	会計方針変更による影響		
			進行基準(国内) 注1	英国子会社の未認識年金債務の負債計上 注2	富士通サービスのIFRS移行(年金影響除く) 注3
売上高	263	574	537	-	37
営業利益	89	153	83	38	32

注1) 年間の影響額は、売上高で200億円、営業利益で20億円となる見込みであります。

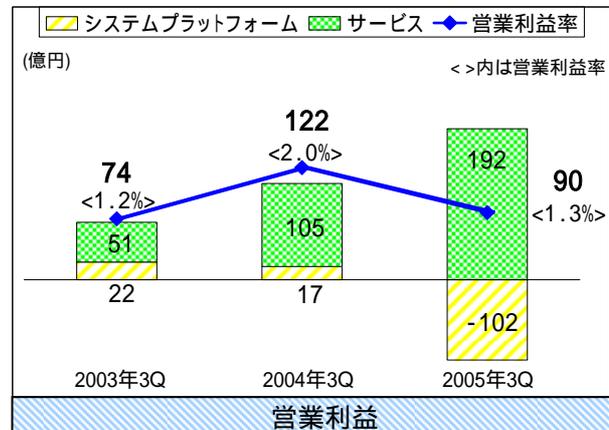
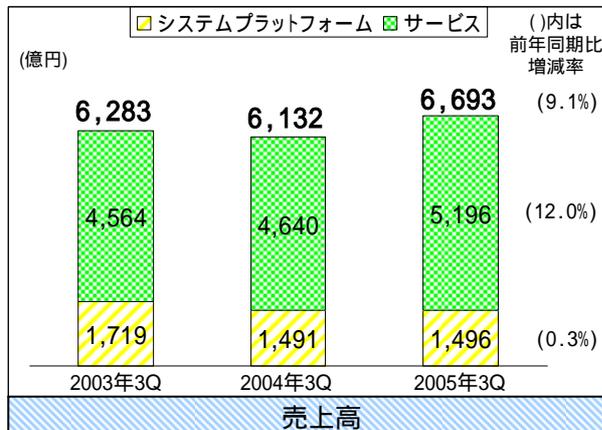
注2) 年間の影響額は、営業利益で51億円となる見込みであります。

注3) 年間の影響額につきましては、現在算定中であります。

【セグメント別の状況】

当第3四半期の売上高（セグメント間の内部売上高を含む）及び営業利益のセグメント別の状況は以下の通りです。

(1) テクノロジーソリューション



売上高は6,693億円で、前年同期比9.1%の増収となりました。進行基準適用による影響を除いたベースでは4.8%の増収です。国内はネットワークプロダクトが引き続き好調に推移したものの、サーバ関連の販売が伸び悩んだこともあり、進行基準適用による影響を除くとほぼ前年同期並みとなりました。海外はUNIXサーバの売上が拡大するとともに、英国でのアウトソーシングサービスが大きく伸張しました。

営業利益は90億円で、前年同期比32億円の減益となりました。システムプラットフォームは、国内外でのサーバ関連の競争環境が厳しさを増していることに加え、開発費用の前倒しもあり、利益が減少しました。サービスは、英国アウトソーシングビジネスが好調に推移しましたが、進行基準導入等の会計方針変更による影響を除くと、ほぼ前年同期並みとなりました。

システムプラットフォーム

売上高は1,496億円で、ほぼ前年同期並みとなりました。システムプロダクトは、海外においてはUNIXサーバの売上が拡大しましたが、国内ではIT投資が一部業種や地域において回復してきているものの、引き続き競争環境は厳しく、減収となりました。ネットワークプロダクトは携帯電話基地局や光伝送システムが引き続き好調で、増収となりました。

	2005年度 第3四半期	前年同期比増減率
売上高	1,496 億円	0.3%
国内	1,057 億円	▲2.9%
海外	438 億円	8.8%

営業利益は102億円の損失となりました。海外におけるサーバの拡販に伴う競争環境の激化、また国内販売の伸び悩みに加え、携帯電話基地局、光伝送システム、サーバ関連の次世代機種の開発費用が前倒しとなり、前年同期比で119億円利益が減少しました。

当社は、11月に米国EDS社(Electronic Data Systems Corporation)とグローバルなテクノロジーパートナー契約を締結しました。この契約に基づき、当社はオープンサーバの経済性とメインフレームの信頼性を両立させた基幹IAサーバ「PRIMEQUEST」をEDS社のソリューション基盤として提供してまいります。当社製品を組み込んだEDS社のソリューションは、北米をはじめとして世界各国で順次販売される予定です。

サービス

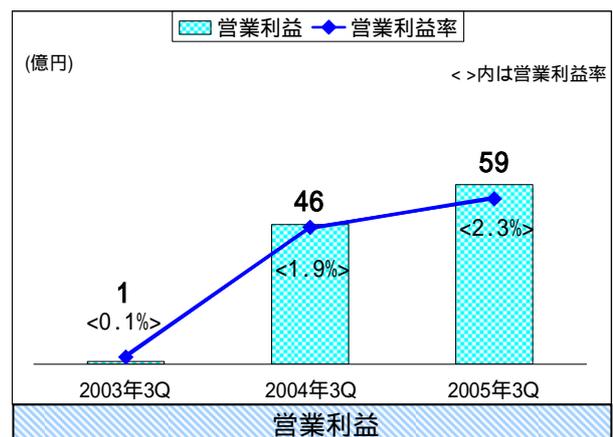
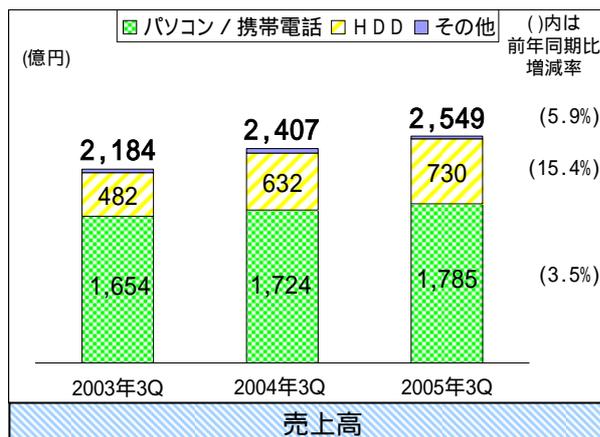
売上高は5,196億円で、前年同期比12.0%の増収となりました。進行基準適用による影響を除いたベースでは6.3%の増収です。国内はソリューション/SI事業がほぼ前年同期並みとなりましたが、海外は英国でのアウトソーシングビジネスが引き続き好調で、二桁の増収となりました。

	2005年度 第3四半期	前年同期比増減率	会計方針の変更 影響を除く増減率
売上高	5,196 億円	12.0 %	6.3 %
国内	3,373 億円	9.1 %	1.5 %
海外	1,823 億円	17.8 %	16.0 %

営業利益は192億円で、前年同期比87億円の増益となりました。進行基準導入等の会計方針の変更による影響を除くとほぼ前年同期並みです。英国アウトソーシングビジネスの増収効果はありましたが、国内で、当第3四半期に一部原価率の高いプロジェクトの売上があったことなどによるものです。

米国シスコシステムズ社との2004年12月に締結したルータ・スイッチ分野での戦略提携に基づき、5月のハードウェアの提供開始に引き続き、この12月にはネットワークスイッチの管理と信頼性強化において、協業を開始いたしました。これにより、両社のネットワークインフラを提供する技術と、それを管理、運用するためのノウハウを統合し、予防保全の領域におけるソリューションを日本国内において提供してまいります。

(2) ユビキタスプロダクトソリューション



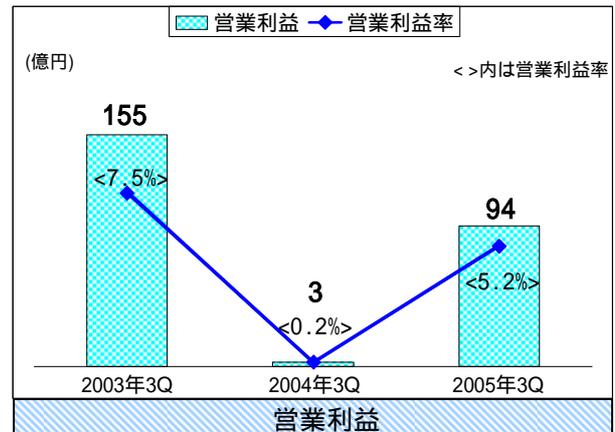
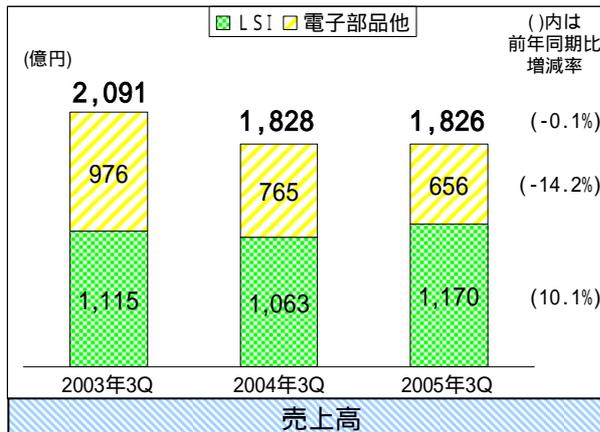
売上高は2,549億円で、前年同期比5.9%の増収となりました。国内のパソコンについては、市場での競争が厳しさを増しておりますが、2006年春モデル商戦の開始時期が前進したほか、個人向けを中心に物量が増加したことにより増収となりました。海外はパソコン、HDDとも好調で二桁の増収となりました。

	2005年度 第3四半期	前年同期比増減率
売上高	2,549 億円	5.9 %
国内	1,593 億円	0.2 %
海外	956 億円	17.0 %

営業利益は59億円で、前年同期比12億円となりました。円安の進行に伴う購入部品のコスト上昇があったものの、ものづくりの強化によるコストダウン・品質強化やHDDの増収効果などにより全体としては前年同期並みの利益を確保しました。

当社は、HDD事業の強化に向け2.5型HDDを中心に製品を拡充するとともに、モバイル機器の中心部品である1.8型HDD市場に新規参入いたします。これまで、モバイルパソコン向け2.5型及びサーバ向け3.5型の二分野に集中し、高品質と高い技術力により順調に販売台数を伸張させてまいりましたが、成長市場へバランス良く経営資源を配分することにより、ワールドワイドで一層の成長力強化を図ります。

(3) デバイスソリューション



売上高は1,826億円で、ほぼ前年同期並みとなりました。フラットパネルディスプレイ事業の譲渡による影響を除いた継続事業ベースでは12.8%の増収です。LSI事業は、携帯電話及びデジタル家電向けを中心に5四半期ぶりに前年同期比で増収に転じました。特に、海外は二桁の増収となりました。

	2005年度 第3四半期	前年同期比増減率	事業再編による影響を除く増減率
売上高	1,826 億円	▲ 0.1 %	12.8 %
国内	1,003 億円	▲ 11.3 %	1.7 %
海外	823 億円	18.1 %	31.4 %

営業利益は94億円で、前年同期比91億円の増益となりました。LSI事業は増収となったものの、本年9月より量産出荷を開始した三重工場300mm新棟の立ち上げ費用により減益となりました。電子部品が引き続き好調に推移したこと、前年同期のフラットパネルディスプレイ事業の赤字がなくなったことにより、全体では大幅な増益となりました。

11月には、米国のグラフィックスメーカーS3 Graphics社の新しい高性能グラフィックプロセッサを、90nmテクノロジーを使って三重工場に製造受託することに合意しました。

また、2006年1月に、先端プロセスによる半導体の需要増に対応するため、三重工場に300mmウェーハ採用のロジックLSI量産新棟(第2棟)を建設することを決定いたしました。当社は、今後とも、先端テクノロジーをベースとした高性能プロダクトも含め、幅広く最適なソリューションを提供し続けることで、お客様の事業パートナーとして貢献してまいります。

12月には、米国AMD社とのフラッシュメモリ事業の合併会社(当社の持分は40.0%)であるスパンション社が上場に伴い新株発行を実施いたしました。上場後の持株比率は当社25.2%、AMD社37.9%、その他36.9%となりました。

【資産、負債、資本の状況】

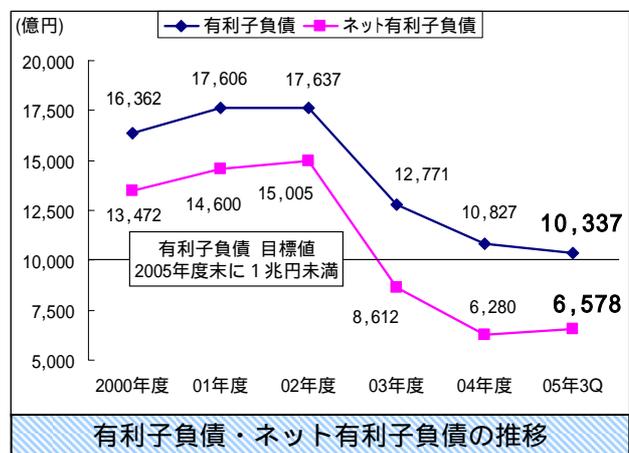
	2005年度 第3四半期	中間期末比	前年同期比	2004年度 第3四半期
総資産	36,319 億円	200 億円	573 億円	35,746 億円
有利子負債	10,337 億円	▲ 548 億円	▲ 1,134 億円	11,471 億円
(ネット有利子負債)	(6,578 億円)	(495 億円)	(▲ 2,720 億円)	(9,298 億円)
株主資本	8,459 億円	269 億円	▲ 70 億円	8,530 億円
D / E レシオ	1.22 倍	▲ 0.11 倍	▲ 0.12 倍	1.34 倍
(ネットD / E レシオ)	(0.78 倍)	(0.04 倍)	(▲ 0.31 倍)	(1.09 倍)

当第3四半期末の総資産残高は3兆6,319億円と中間期末に比べて200億円増加しました。

流動資産は1兆8,242億円ではば中間期末並みとなりました。現預金は主に借入金の返済により減少しましたが、第3四半期の売上が伸びたことにより売掛債権が増加したほか、第4四半期に集中する売上に向けて棚卸資産が増加しました。固定資産は1兆8,077億円と、投資有価証券の時価上昇などにより中間期末に比べて190億円増加しました。

負債の残高は2兆6,182億円となり中間期末に比べて88億円減少しました。第4四半期の売上に対応して買掛債務が増加しましたが、借入金の返済を進めたことなどにより減少しました。この結果、有利子負債の残高は548億円減少し1兆337億円となりました。

株主資本の残高は8,459億円となり中間期末に比べて269億円増加しました。当期純利益の計上や、保有有価証券の時価上昇によるその他有価証券評価差額金の増加などによるものです。この結果、株主資本比率は23.3%となり、D/Eレシオは1.22倍と中間期末に比べ0.11改善しました。



【キャッシュ・フローの状況】

	2005年度 第3四半期	前年同期比	2005年度 9ヶ月累計	前年同期比
営業キャッシュ・フロー	65 億円	▲ 265 億円	1,496 億円	663 億円
投資キャッシュ・フロー	▲ 386 億円	34 億円	▲ 1,428 億円	▲ 450 億円
フリー・キャッシュ・フロー	▲ 320 億円	▲ 230 億円	67 億円	212 億円

当第3四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは65億円と、前年同期比で265億円のマイナスとなりました。前年度と比べ売上の平準化や回収サイトの短い海外売上の増加により、売掛債権の上期中での回収が進み、第3四半期の回収額が減少したことによるものです。利益の改善や棚卸資産の効率化により9ヶ月累計では、前年同期比で663億円の収入増です。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期並みの386億円で、主に設備投資のための支出です。営業キャッシュ・フローと投資キャッシュ・フローを合わせたフリー・キャッシュ・フローは、320億円のマイナス、前年同期比230億円の支出増となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済を進めたことなどにより729億円のマイナスとなりました。

この結果、現金及び現金同等物の当第3四半期末残高は、中間期末に比べて1,032億円減少し3,754億円となりました。

(1) 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	2005年度 第3四半期 (2005年10月1日～ 2005年12月31日)		2004年度 第3四半期 (2004年10月1日～ 2004年12月31日)		前年同期比	
		売上高比		売上高比		増減率
		%		%		%
売 上 高	1,121,442	100.0	1,043,648	100.0	77,794	7.5
売 上 原 価	840,963	75.0	775,785	74.3	65,178	8.4
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	267,888	23.9	263,036	25.2	4,852	1.8
営 業 利 益	12,591	1.1	4,827	0.5	7,764	160.8
営 業 外 損 益						
金 融 収 支	▲ 2,467		▲ 2,295		▲ 172	
持分法による投資利益	552		665		▲ 113	
退職給付積立不足償却額	▲ 5,260		▲ 9,792		4,532	
そ の 他	▲ 2,016		▲ 7,667		5,651	
計	▲ 9,191	▲ 0.8	▲ 19,089	▲ 1.9	9,898	-
経 常 利 益	3,400	0.3	▲ 14,262	▲ 1.4	17,662	-
特 別 損 益						
投資有価証券売却益	-	-	1,006	0.1		
持分変動損失	▲ 8,413	▲ 0.7	-	-		
事業構造改善費用	-	-	▲ 2,244	▲ 0.2		
計	▲ 8,413	▲ 0.7	▲ 1,238	▲ 0.1	▲ 7,175	-
税金等調整前当期純利益	▲ 5,013	▲ 0.4	▲ 15,500	▲ 1.5	10,487	-
法 人 税 等	▲ 10,952	▲ 1.0	▲ 4,513	▲ 0.4	▲ 6,439	
少 数 株 主 利 益	2,572	0.3	▲ 1,417	▲ 0.2	3,989	
当 期 純 利 益	3,367	0.3	▲ 9,570	▲ 0.9	12,937	-

注1) 「金融収支」には受取利息、受取配当金及び支払利息を含めて表示しております。

注2) 「持分変動損失」は、関連会社(スパンション社)の第三者割当増資に伴うものであります。

(2) セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

(単位：百万円)

		2005年度 第3四半期	2004年度 第3四半期	前年同期比	
		〔2005年10月1日～ 2005年12月31日〕	〔2004年10月1日～ 2004年12月31日〕	増減率(%)	
テクノロジー ソリューション	売上高	669,304	613,267	56,037	9.1
	国内	443,126	418,159	24,967	6.0
	海外	226,178	195,108	31,070	15.9
	営業利益 (営業利益率)	9,009 (1.3%)	12,256 (2.0%)	▲ 3,247 (▲ 0.7%)	▲ 26.5
ユビキタス プロダクト ソリューション	売上高	254,949	240,796	14,153	5.9
	国内	159,326	159,049	277	0.2
	海外	95,623	81,747	13,876	17.0
	営業利益 (営業利益率)	5,922 (2.3%)	4,673 (1.9%)	1,249 (0.4%)	26.7
デバイス ソリューション	売上高	182,634	182,824	▲ 190	▲ 0.1
	国内	100,324	113,149	▲ 12,825	▲ 11.3
	海外	82,310	69,675	12,635	18.1
	営業利益 (営業利益率)	9,458 (5.2%)	347 (0.2%)	9,111 (5.0%)	-
その他	売上高	108,786	91,014	17,772	19.5
	国内	80,714	71,713	9,001	12.6
	海外	28,072	19,301	8,771	45.4
	営業利益 (営業利益率)	2,260 (2.1%)	1,580 (1.7%)	680 (0.4%)	43.0
消去/全社	売上高	▲ 94,231	▲ 84,253	▲ 9,978	-
	営業利益	▲ 14,058	▲ 14,029	▲ 29	-
合計	売上高	1,121,442	1,043,648	77,794	7.5
	国内	709,840	692,556	17,284	2.5
	海外	411,602	351,092	60,510	17.2
	営業利益 (営業利益率)	12,591 (1.1%)	4,827 (0.5%)	7,764 (0.6%)	160.8

注) 売上高にはセグメント間の内部売上高を含みます。

売上高の主要製品別内訳

(単位：百万円)

	2005年度 第3四半期	2004年度 第3四半期	前年同期比	
	(2005年10月1日～ 2005年12月31日)	(2004年10月1日～ 2004年12月31日)		増減率(%)
テクノロジーソリューション	669,304	613,267	56,037	9.1
システムプラットフォーム	149,612	149,185	427	0.3
システムプロダクト	71,744	74,891	▲ 3,147	▲ 4.2
ネットワークプロダクト	77,868	74,294	3,574	4.8
サービス	519,692	464,082	55,610	12.0
ソリューション / S I	225,101	197,684	27,417	13.9
インフラサービス	254,784	229,883	24,901	10.8
その他	39,807	36,515	3,292	9.0
ユビキタスプロダクトソリューション	254,949	240,796	14,153	5.9
パソコン / 携帯電話	178,555	172,458	6,097	3.5
HDD	73,019	63,285	9,734	15.4
その他	3,375	5,053	▲ 1,678	▲ 33.2
デバイスソリューション	182,634	182,824	▲ 190	▲ 0.1
L S I	117,000	106,300	10,700	10.1
電子部品他	65,634	76,524	▲ 10,890	▲ 14.2

注) 売上高にはセグメント間の内部売上高を含みます。

テクノロジーソリューションの営業利益内訳

(単位：百万円)

	2005年度 第3四半期	2004年度 第3四半期	前年同期比	
	(2005年10月1日～ 2005年12月31日)	(2004年10月1日～ 2004年12月31日)		増減率(%)
テクノロジーソリューション	9,009 (1.3%)	12,256 (2.0%)	▲ 3,247 (▲ 0.7%)	▲ 26.5
システムプラットフォーム	▲ 10,244 (▲ 6.8%)	1,735 (1.2%)	▲ 11,979 (▲ 8.0%)	-
サービス	19,253 (3.7%)	10,521 (2.3%)	8,732 (1.4%)	83.0

注) ()内は営業利益率であります。

(3) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	2005年度 第3四半期		2005年度 中間期		増 減	2004年度	
	(2005年12月末)	構成比	(2005年9月末)	構成比		(2005年3月末)	構成比
		%		%			%
資 産 の 部							
流 動 資 産	1,824,234	50.2	1,823,199	50.5	1,035	1,981,537	54.4
現預金及び有価証券	376,875		481,973		▲ 105,098	457,188	
売掛債権	761,632		684,441		77,191	824,992	
棚卸資産	482,467		448,298		34,169	478,510	
その他	203,260		208,487		▲ 5,227	220,847	
固 定 資 産	1,807,761	49.8	1,788,718	49.5	19,043	1,658,661	45.6
有形固定資産	758,600		770,283		▲ 11,683	727,900	
無形固定資産	213,861		217,978		▲ 4,117	224,295	
投資その他の資産	835,300		800,457		34,843	706,466	
資 産 合 計	3,631,995	100.0	3,611,917	100.0	20,078	3,640,198	100.0
負 債 の 部							
流 動 負 債	1,533,231	42.2	1,469,858	40.7	63,373	1,491,517	41.0
買掛債務	671,229		609,977		61,252	735,981	
社債及び短期借入金	334,396		335,403		▲ 1,007	209,553	
その他	527,606		524,478		3,128	545,983	
固 定 負 債	1,085,024	29.9	1,157,250	32.0	▲ 72,226	1,127,484	31.0
社債及び長期借入金	699,345		753,143		▲ 53,798	873,235	
その他	385,679		404,107		▲ 18,428	254,249	
負 債 合 計	2,618,255	72.1	2,627,108	72.7	▲ 8,853	2,619,001	72.0
少 数 株 主 持 分	167,758	4.6	165,747	4.6	2,011	164,207	4.5
資 本 の 部							
資 本 金	324,625	8.9	324,625	9.0	-	324,625	8.9
資 本 剰 余 金	498,016	13.7	498,013	13.8	3	497,882	13.7
利 益 剰 余 金	▲ 94,660	▲ 2.6	▲ 92,281	▲ 2.6	▲ 2,379	▲ 7,823	▲ 0.2
その他有価証券/土地再評価差額金	169,618	4.7	143,896	4.0	25,722	101,529	2.8
為替換算調整勘定	▲ 50,269	▲ 1.4	▲ 53,997	▲ 1.5	3,728	▲ 57,980	▲ 1.6
自己株式	▲ 1,348	▲ 0.0	▲ 1,194	▲ 0.0	▲ 154	▲ 1,243	▲ 0.1
資 本 合 計	845,982	23.3	819,062	22.7	26,920	856,990	23.5
負債、少数株主持分及び資本合計	3,631,995	100.0	3,611,917	100.0	20,078	3,640,198	100.0
有 利 子 負 債 残 高	1,033,741	28.5	1,088,546	30.1	▲ 54,805	1,082,788	29.7
D / E レ シ オ	1.22倍		1.33倍		▲ 0.11倍	1.26倍	

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	2005年度 第3四半期 (2005年10月1日～ 2005年12月31日)	2004年度 第3四半期 (2004年10月1日～ 2004年12月31日)	前年同期比
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前当期純利益	▲ 5,013	▲ 15,500	10,487
減価償却費及び連結調整勘定償却額	62,467	56,299	6,168
引当金の繰入額(▲ 取崩額)	752	▲ 655	1,407
持分法による投資損失(▲ 利益)	▲ 552	▲ 665	113
固定資産廃却	3,602	2,228	1,374
売掛債権の減少(▲ 増加)	▲ 69,148	62,402	▲ 131,550
棚卸資産の減少(▲ 増加)	▲ 31,851	▲ 45,719	13,868
買掛債務の増加(▲ 減少)	54,380	12,285	42,095
その他	▲ 8,048	▲ 37,564	29,516
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,589	33,111	▲ 26,522
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得	▲ 39,728	▲ 41,357	1,629
投資有価証券の取得及び売却	165	4,094	▲ 3,929
その他	893	▲ 4,867	5,760
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 38,670	▲ 42,130	3,460
+ (フリー・キャッシュ・フロー)	▲ 32,081	▲ 9,019	▲ 23,062
財務活動によるキャッシュ・フロー			
社債及び借入金の増加(▲ 減少)	▲ 56,986	25,365	▲ 82,351
配当金の支払額	▲ 6,204	▲ 6,001	▲ 203
その他	▲ 9,785	▲ 6,890	▲ 2,895
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 72,975	12,474	▲ 85,449
現金及び現金同等物にかかる換算差額	1,830	▲ 988	2,818
現金及び現金同等物の増減額	▲ 103,226	2,467	▲ 105,693
現金及び現金同等物の期首残高	478,719	212,860	265,859
現金及び現金同等物の期末残高	375,493	215,327	160,166

3. 9ヶ月累計の経営成績、財務諸表等

【損益の状況】

	2005年度 9ヶ月累計	前年同期比増減率
売上高	33,137 億円	1.5 %
国内	21,797 億円	▲ 2.3 %
海外	11,340 億円	9.8 %

会計方針の変更及び
事業再編による
影響を除く増減率

2.2 %
▲ 2.7 %
12.9 %

	2005年度 9ヶ月累計	前年同期比
営業利益	601 億円	220 億円

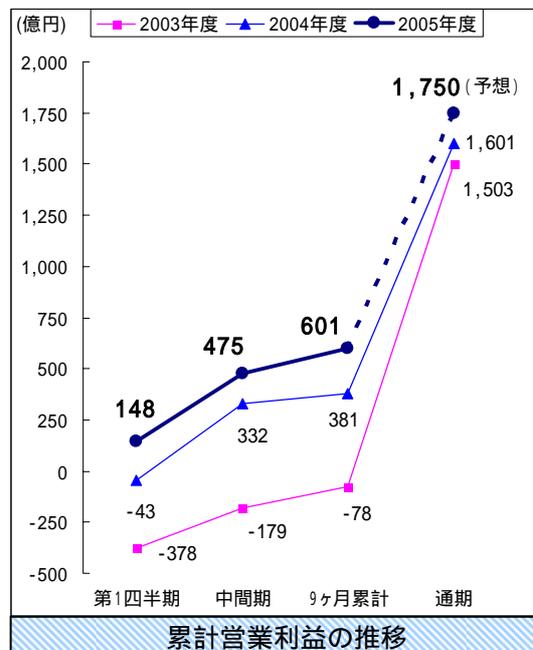
売上高は3兆3,137億円となり、会計方針の変更及び事業再編による影響を除いたベースでは2.2%の増収でした。

期前半の半導体の市況低迷や、前年にあった新紙幣特需の反動のほか、国内のソリューション/SI、システムプロダクトの売上が伸び悩みましたが、海外では、サーバやHDDのほか、英国でのアウトソーシングサービスや北米向けの光伝送システムが増収となりました。

営業利益は601億円で前年同期比220億円の増収でした。会計基準の変更影響を除くと67億円の増収です。

システムプラットフォームでは国内外でのサーバ関連の競争激化、LSIが期前半の半導体市況低迷や300mm新棟の立ち上げ費用により、それぞれ前年同期比で利益が減少しました。一方で、サービスではソリューション/SI事業での不採算プロジェクト発生抑止効果や英国アウトソーシングサービスの好調など、ユビキタスプロダクトではものづくりの強化によるコストダウン・品質強化やHDDの増収効果などにより、それぞれ大幅な増収となりました。この結果、営業利益率は1.8%となり、前年同期比で0.6ポイント改善しました。

経常利益は192億円の利益で295億円の改善となりました。営業利益の増収によるほか、退職給付積立不足償却額が年金制度改訂により減少し、為替差損益も改善しました。



特別利益には、HDDの不具合に関する訴訟の和解金の受取額159億円と液晶ディスプレイ事業の譲渡に伴う事業譲渡益34億円を計上し、特別損失には、関連会社(スパンション社)の上場に伴う持分変動損失84億円とグループの事業構造改善費用を54億円計上しました。

この結果、当期純利益は110億円となり、前年同期比で287億円改善しました。

(1) 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	2005年度 9ヶ月累計 (2005年4月1日～ 2005年12月31日)		2004年度 9ヶ月累計 (2004年4月1日～ 2004年12月31日)		前年同期比	
		売上高比		売上高比		増減率
		%		%		%
売 上 高	3,313,774	100.0	3,263,707	100.0	50,067	1.5
売 上 原 価	2,448,105	73.9	2,408,702	73.8	39,403	1.6
販売費及び一般管理費	805,503	24.3	816,893	25.0	▲ 11,390	▲ 1.4
営 業 利 益	60,166	1.8	38,112	1.2	22,054	57.9
営 業 外 損 益						
金 融 収 支	▲ 6,028		▲ 6,649		621	
持分法による投資利益	▲ 4,260		5,189		▲ 9,449	
退職給付積立不足償却額	▲ 23,342		▲ 29,487		6,145	
そ の 他	▲ 7,240		▲ 17,400		10,160	
計	▲ 40,870	▲ 1.2	▲ 48,347	▲ 1.5	7,477	-
経 常 利 益	19,296	0.6	▲ 10,235	▲ 0.3	29,531	-
特 別 損 益						
受 取 和 解 金	15,957	0.5	-	-		
事 業 譲 渡 益	3,455	0.1	-	-		
投資有価証券売却益	-	-	3,491	0.1		
持 分 変 動 損 失	▲ 8,413	▲ 0.3	-	-		
事 業 構 造 改 善 費 用	▲ 5,474	▲ 0.2	▲ 6,843	▲ 0.2		
計	5,525	0.1	▲ 3,352	▲ 0.1	8,877	-
税金等調整前当期純利益	24,821	0.7	▲ 13,587	▲ 0.4	38,408	-
法 人 税 等	6,460	0.2	▲ 833	▲ 0.0	7,293	
少 数 株 主 利 益	7,328	0.2	4,977	0.1	2,351	
当 期 純 利 益	11,033	0.3	▲ 17,731	▲ 0.5	28,764	-

注1) 「金融収支」には受取利息、受取配当金及び支払利息を含めて表示しております。

注2) 「受取和解金」は、HDD(小型磁気ディスク装置)の不具合に関する訴訟の和解に伴うものであります。

注3) 「事業譲渡益」は、液晶ディスプレイ事業の譲渡に係るものであります。

注4) 「持分変動損失」は、関連会社(スパンション社)の第三者割当増資に伴うものであります。

注5) 「事業構造改善費用」は、事業の採算性向上と資産効率化に向けた事業再編、事業所統廃合等に伴うものであります。

(2) セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

(単位：百万円)

		2005年度 9ヶ月累計	2004年度 9ヶ月累計	前年同期比	
		〔2005年4月1日～ 2005年12月31日〕	〔2004年4月1日～ 2004年12月31日〕		増減率(%)
テクノロジー ソリューション	売上高	2,013,384	1,927,165	86,219	4.5
	国内	1,393,178	1,374,784	18,394	1.3
	海外	620,206	552,381	67,825	12.3
	営業利益 (営業利益率)	51,922 (2.6%)	31,151 (1.6%)	20,771 (1.0%)	66.7
ユビキタス プロダクト ソリューション	売上高	753,404	722,461	30,943	4.3
	国内	488,269	505,402	▲ 17,133	▲ 3.4
	海外	265,135	217,059	48,076	22.1
	営業利益 (営業利益率)	22,530 (3.0%)	8,094 (1.1%)	14,436 (1.9%)	178.4
デバイス ソリューション	売上高	518,681	609,015	▲ 90,334	▲ 14.8
	国内	291,091	365,023	▲ 73,932	▲ 20.3
	海外	227,590	243,992	▲ 16,402	▲ 6.7
	営業利益 (営業利益率)	23,944 (4.6%)	34,924 (5.7%)	▲ 10,980 (▲ 1.1%)	▲ 31.4
その他	売上高	319,599	276,562	43,037	15.6
	国内	242,092	218,789	23,303	10.7
	海外	77,507	57,773	19,734	34.2
	営業利益 (営業利益率)	4,357 (1.4%)	5,262 (1.9%)	▲ 905 (▲ 0.5%)	▲ 17.2
消去/全社	売上高	▲ 291,294	▲ 271,496	▲ 19,798	-
	営業利益	▲ 42,587	▲ 41,319	▲ 1,268	-
合計	売上高	3,313,774	3,263,707	50,067	1.5
	国内	2,179,730	2,230,616	▲ 50,886	▲ 2.3
	海外	1,134,044	1,033,091	100,953	9.8
	営業利益 (営業利益率)	60,166 (1.8%)	38,112 (1.2%)	22,054 (0.6%)	57.9

注) 売上高にはセグメント間の内部売上高を含みます。

売上高の主要製品別内訳

(単位：百万円)

	2005年度 9ヶ月累計 〔2005年4月1日～ 2005年12月31日〕	2004年度 9ヶ月累計 〔2004年4月1日～ 2004年12月31日〕	前年同期比	
				増減率(%)
テクノロジーソリューション	2,013,384	1,927,165	86,219	4.5
システムプラットフォーム	482,269	474,764	7,505	1.6
システムプロダクト	227,894	232,304	▲ 4,410	▲ 1.9
ネットワークプロダクト	254,375	242,460	11,915	4.9
サービス	1,531,115	1,452,401	78,714	5.4
ソリューション / S I	682,654	635,752	46,902	7.4
インフラサービス	727,377	685,861	41,516	6.1
その他	121,084	130,788	▲ 9,704	▲ 7.4
ユビキタスプロダクトソリューション	753,404	722,461	30,943	4.3
パソコン / 携帯電話	530,725	535,428	▲ 4,703	▲ 0.9
HDD	209,883	171,665	38,218	22.3
その他	12,796	15,368	▲ 2,572	▲ 16.7
デバイスソリューション	518,681	609,015	▲ 90,334	▲ 14.8
L S I	336,300	352,300	▲ 16,000	▲ 4.5
電子部品他	182,381	256,715	▲ 74,334	▲ 29.0

注) 売上高にはセグメント間の内部売上高を含みます。

テクノロジーソリューションの営業利益内訳

(単位：百万円)

	2005年度 9ヶ月累計 〔2005年4月1日～ 2005年12月31日〕	2004年度 9ヶ月累計 〔2004年4月1日～ 2004年12月31日〕	前年同期比	
				増減率(%)
テクノロジーソリューション	51,922 (2.6%)	31,151 (1.6%)	20,771 (1.0%)	66.7
システムプラットフォーム	▲ 6,687 (▲ 1.4%)	6,860 (1.4%)	▲ 13,547 (▲ 2.8%)	-
サービス	58,609 (3.8%)	24,291 (1.7%)	34,318 (2.1%)	141.3

注) ()内は営業利益率であります。

(3) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	2005年度 9ヶ月累計 (2005年4月1日～ 2005年12月31日)	2004年度 9ヶ月累計 (2004年4月1日～ 2004年12月31日)	前年同期比
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前当期純利益	24,821	▲ 13,587	38,408
減価償却費及び連結調整勘定償却額	175,061	169,806	5,255
引当金の繰入額(▲ 取崩額)	▲ 12,188	▲ 4,546	▲ 7,642
持分法による投資損失(▲ 利益)	4,260	▲ 5,189	9,449
固定資産廃却	13,536	12,822	714
売掛債権の減少(▲ 増加)	124,395	175,832	▲ 51,437
棚卸資産の減少(▲ 増加)	▲ 70,903	▲ 102,174	31,271
買掛債務の増加(▲ 減少)	▲ 60,275	▲ 101,343	41,068
その他の	▲ 49,079	▲ 48,314	▲ 765
営業活動によるキャッシュ・フロー	149,628	83,307	66,321
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得	▲ 167,432	▲ 102,277	▲ 65,155
投資有価証券の取得及び売却	▲ 24,672	15,186	▲ 39,858
その他の	49,241	▲ 10,714	59,955
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 142,863	▲ 97,805	▲ 45,058
+ (フリー・キャッシュ・フロー)	6,765	▲ 14,498	21,263
財務活動によるキャッシュ・フロー			
社債及び借入金の増加(▲ 減少)	▲ 51,994	▲ 131,241	79,247
配当金の支払額	▲ 12,408	▲ 12,001	▲ 407
その他の	▲ 23,752	▲ 29,094	5,342
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 88,154	▲ 172,336	84,182
現金及び現金同等物にかかる換算差額	2,366	322	2,044
現金及び現金同等物の増減額	▲ 79,023	▲ 186,512	107,489
現金及び現金同等物の期首残高	454,516	413,826	40,690
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	-	▲ 11,987	11,987
現金及び現金同等物の期末残高	375,493	215,327	160,166

4. 通期の業績見通し

当第3四半期の売上高および利益は前回予想（2005年10月公表）を上回ることが出来ました。これは、国内外のサービスビジネスが引き続き堅調に推移するとともに、日本を含む国際的な市況の回復に合わせてネットワークプロダクト、パソコン、携帯電話やLSI、電子部品といった製品群が好調だったことによります。

このように第3四半期では前回予想を上回っておりますが、通期の業績については、現段階では売上高、営業利益、経常利益、当期純利益のいずれも、10月公表時からの変更はありません。

国内のシステムプロダクトやサービスビジネスにおいて、年度末に売上、検収が集中することによる不確定要素が残っており、なかでも年度末に利益の集中度が高いサーバ関連の売上の確度、また進行基準の適用により収益は平準化してきましたが、検収が集中する第4四半期における影響などの精査に努めている段階です。このほかに、パソコンでは円安および商戦開始時期前進の影響が見込まれ、また現在好調なLSI、電子部品、HDDなどにおいても所要と収益性を見極めております。

一方、セグメント別の内訳につきましては、売上高は、連結全体では前回予想からの変更はありませんが、電子部品が好調なデバイスソリューションでの増加を見込んでいます。また、営業利益につきましても、全体での変更はありませんが、売上が好調なデバイスソリューションでの増額を見込む一方、システムプロダクトでの国内外における競争激化の影響を織り込み、システムプラットフォームを減額いたします。

（単位：億円）

	2005年度(予想)	10月公表比	2004年度(実績)
売上高	48,000	-	47,627
営業利益	1,750	-	1,601
経常利益	1,100	-	890
当期純利益	500	-	319

この資料に記載した内容には、現時点の経営予測や仮説に基づく、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの将来の見通しに関する記述において明示または黙示されていることは、既知または未知のリスクや不確実な要因により、実際の結果・業績または事象と異なることがあります。実際の結果・業績または事象に影響を与えうるリスクや不確実な要素には、以下のようなものが含まれます（但しここに記載したものはあくまで例であり、これらに限られるものではありません）。

- ・ 主要市場における景気動向（特に日本、北米、欧州）
- ・ ハイテク市場における変動性（特に半導体、パソコン、携帯電話など）
- ・ 為替動向、金利変動
- ・ 資本市場の動向
- ・ 価格競争の激化
- ・ 技術開発競争による市場ポジションの変化
- ・ 部品調達環境の変化
- ・ 提携、アライアンス、技術供与による競争関係の変化
- ・ 不採算プロジェクト発生の可能性
- ・ 会計方針の変更

5. 補足資料

(1) セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

(単位：億円)

		2005年度(予想)			2004年度 (実績)	前年比	
		10月時予想	今回予想	差異		増減率(%)	
テクノロジー ソリューション	売上高	30,200	30,200	-	29,344	855	2.9
	国内	21,600	21,500	▲100	21,576	▲76	▲0.4
	海外	8,600	8,700	100	7,767	932	12.0
	営業利益 (営業利益率)	1,800 (6.0%)	1,750 (5.8%)	▲50 (▲0.2%)	1,420 (4.8%)	329 (1.0%)	23.2
ユビキタス プロダクト ソリューション	売上高	10,500	10,500	-	10,314	185	1.8
	国内	7,000	7,000	-	7,330	▲330	▲4.5
	海外	3,500	3,500	-	2,983	516	17.3
	営業利益 (営業利益率)	250 (2.4%)	250 (2.4%)	- (-%)	313 (3.0%)	▲63 (▲0.6%)	▲20.2
デバイス ソリューション	売上高	6,800	6,900	100	7,947	▲1,047	▲13.2
	国内	3,900	3,900	-	4,748	▲848	▲17.9
	海外	2,900	3,000	100	3,199	▲199	▲6.2
	営業利益 (営業利益率)	200 (2.9%)	250 (3.6%)	50 (0.7%)	325 (4.1%)	▲75 (▲0.5%)	▲23.3
その他	売上高	4,100	4,100	-	3,772	327	8.7
	国内	3,100	3,100	-	2,974	125	4.2
	海外	1,000	1,000	-	797	202	25.4
	営業利益 (営業利益率)	100 (2.4%)	100 (2.4%)	- (-%)	90 (2.4%)	9 (-%)	10.5
消去/全社	売上高	▲3,600	▲3,700	▲100	▲3,750	50	-
	営業利益	▲600	▲600	-	▲548	▲51	-
合計	売上高	48,000	48,000	-	47,627	372	0.8
	国内	32,500	32,400	▲100	33,406	▲1,006	▲3.0
	海外	15,500	15,600	100	14,220	1,379	9.7
	営業利益 (営業利益率)	1,750 (3.6%)	1,750 (3.6%)	- (-%)	1,601 (3.4%)	148 (0.2%)	9.2

注) 売上高にはセグメント間の内部売上高を含みます。

売上高の主要製品別内訳

(単位：億円)

	2005年度(予想)			2004年度 (実績)	前年比	
	10月時予想	今回予想	差異		増減率(%)	
テクノロジーソリューション	30,200	30,200	-	29,344	855	2.9
システムプラットフォーム	7,100	7,100	-	7,340	▲ 240	▲ 3.3
システムプロダクト	3,700	3,500	▲ 200	3,801	▲ 301	▲ 7.9
ネットワークプロダクト	3,400	3,600	200	3,538	61	1.7
サービス	23,100	23,100	-	22,004	1,095	5.0
ソリューション/S I	10,250	10,250	-	10,026	223	2.2
インフラサービス	10,700	10,700	-	9,761	938	9.6
その他	2,150	2,150	-	2,215	▲ 65	▲ 3.0
ユビキタスプロダクトソリューション	10,500	10,500	-	10,314	185	1.8
パソコン/携帯電話	7,500	7,500	-	7,761	▲ 261	▲ 3.4
HDD	2,800	2,800	-	2,355	444	18.9
その他	200	200	-	197	2	1.3
デバイスソリューション	6,800	6,900	100	7,947	▲ 1,047	▲ 13.2
L S I	4,500	4,500	-	4,682	▲ 182	▲ 3.9
電子部品他	2,300	2,400	100	3,265	▲ 865	▲ 26.5

注) 売上高にはセグメント間の内部売上高を含みます。

テクノロジーソリューションの営業利益内訳

(単位：億円)

	2005年度(予想)			2004年度 (実績)	前年比	
	10月時予想	今回予想	差異		増減率(%)	
テクノロジーソリューション	1,800 (6.0%)	1,750 (5.8%)	▲ 50 (▲ 0.2%)	1,420 (4.8%)	329 (1.0%)	23.2
システムプラットフォーム	400 (5.6%)	350 (4.9%)	▲ 50 (▲ 0.7%)	451 (6.2%)	▲ 101 (▲ 1.3%)	▲ 22.5
サービス	1,400 (6.1%)	1,400 (6.1%)	- (-%)	968 (4.4%)	431 (1.7%)	44.5

注) () 内は営業利益率であります。

(2) 研究開発費

(単位:億円)

	2005年度(予想)			2004年度 (実績)
	10月時予想	今回予想	差異	
研究開発費	2,450	2,450	-	2,402
売上高比	5.1%	5.1%	-%	5.0%

(3) 設備投資・減価償却費

(単位:億円)

	2005年度(予想)			2004年度 (実績)
	10月時予想	今回予想	差異	
テクノロジーソリューション	1,100	1,100	-	658
ユビキタスプロダクトソリューション	200	200	-	172
デバイスソリューション	1,100	1,100	-	761
全社共通他	200	200	-	220
設備投資合計	2,600	2,600	-	1,814
国内	2,000	2,000	-	1,423
海外	600	600	-	390
減価償却費	1,900	1,900	-	1,699

(4) キャッシュ・フロー

(単位:億円)

	2005年度(予想)			2004年度 (実績)
	10月時予想	今回予想	差異	
当期純利益	500	500	-	319
減価償却費*	2,600	2,600	-	2,321
その他増減	400	400	-	132
(A)営業キャッシュ・フロー	3,500	3,500	-	2,772
(B)投資キャッシュ・フロー	▲ 2,500	▲ 2,500	-	▲ 151
(C)フリー・キャッシュ・フロー (A)+(B)	1,000	1,000	-	2,621
(D)財務キャッシュ・フロー	▲ 1,200	▲ 1,500	▲ 300	▲ 2,120
(E)キャッシュ・フロー計 (C)+(D)	▲ 200	▲ 500	▲ 300	500

* 連結調整勘定償却費を含む

(5) 為替レート(USドル)

	2005年度第4四半期(予想)		
	10月時予想	今回予想	差異
業績予想前提レート	105円	115円	10円

(6) パソコンの出荷台数

(単位:万台)

	2005年度(予想)			2004年度 (実績)
	10月時予想	今回予想	差異	
出荷台数	800	800	-	744

(7) 携帯電話の出荷台数

(単位:万台)

	2005年度(予想)			2004年度 (実績)
	10月時予想	今回予想	差異	
出荷台数	310	350	40	349

(8) HDDの生産台数

(単位:万台)

	2005年度(予想)			2004年度 (実績)
	10月時予想	今回予想	差異	
生産台数	2,600	2,600	-	1,934